

ヒューストン日本商工会

前会長離任挨拶

北米三菱商事会社 高杉 禎

この度、日本への帰任に伴い3月15日をもちまして商工会会長職を離任致しました。会長在任期間中には、会員並びに関係者の皆様より多大なるご支援を賜りこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2012年の4月にニューヨークからヒューストンへ赴任して参りましたが、ヒューストン駐在の6年の間に商工会会長職を二度引き受けさせて頂きました。駐在期間中に二度会長職を経験された方は、恐らく、今までにどなたも居られなかったと思います。非常に貴重な経験をさせて頂きました。入社以来ずっと化学品ビジネスに従事してきましたので、世界最大の石化コンプレックスを擁するヒューストンで仕事できたことは非常に幸せでした。また、この6年の間にシェール革命でヒューストン経済が目ざましく発展し、日本企業の駐在員数も増加、これにより商工会も急拡大を遂げました。因みに2012年時点の正団体数(加盟企業数)は 85社、会員総数は 426名でしたが、現時点で正団体数は118社、会員総数は810名と、会員総数では約倍増となりました。斯かる中、日本からの直行便が1日2便に増え、ヒューストンは日本にとってより身近な場所となりました。

商工会の拡大により、経済活動の促進、企業間の相互援助・親交、そして日本語補習校の運営と言った商工会の基本使命に加え、従来以上にヒューストン地域への貢献や他団体との交流促進を通じた日本のプレゼンス向上が求められています。皆様のご記憶に新しい通り、昨年ハリケーンHarveyの襲来で我々含めヒューストン市民にとって忘れられない年となりましたが、商工会としてハリケーンの被害に対し\$10万を支援団体へ寄付致しました。ヒューストン大学の都市計画活動に対しても\$10万の寄付を実行して地元コミュニティとの結束を強めてきました。また、奇しくも私の会長在任中に商工会発足50周年を祝うレセプション並びに記念コンサートを開催することができました。レセプションにはターナー市長をはじめ、各方面より地域のリーダーを招くことができ、また商工会が相互理解及び友好親善の促進に寄与しているとして総領事より「公館長表彰」を頂戴し、記念コンサートでは、世界で活躍する五嶋龍氏を招き800人もの方々に楽しんでいただくことができました。困難もございましたが、私の在任中にこのような機会にめぐり合い、皆様とともに商工会を盛り上げることができたことはこの上ない喜びでございます。

ヒューストンは多様な産業分野への裾野の広がりを背景に、今後とも米国をリードしていく市場です。商工会の更なる発展を祈念しつつ住友商事の本多新会長にバトンを託しました。最後に皆様の更なるご健勝をお祈り申し上げ離任のメッセージとさせていただきます。本当にありがとうございました。



左: 高杉前会長 右: 本多新会長

ヒューストン日本商工会

新会長就任挨拶

米州住友商事会社 本多 之仁

この度、ヒューストン日本商工会会長職を引き継がせて頂きました本多です。名会長・高杉様の後任は前回(2015年)に就いてのことであり、大変な重圧を感じておりますが皆様の御支援の下、当会の更なる発展に向けて微力ながら尽力して参りますのでどうぞ宜しくお願いします。

私は入社以来、石油ガスの掘削、輸送、精製で使用する各種鋼管を担当しており、ロシアと米国にそれぞれ2度ずつ駐在して参りました。今回のヒューストン勤務は2014年からですが、同年秋頃から始まった油価下落による石油ガス産業の試練と、その

後の回復の変遷を経験する中で、

ヒューストン社会・経済の多様性や懐の深さ、そしてそれを裏打ちする人々の叡智、ネットワーク、大らかさ、粘り強さをあらためて認識しました。例えば3年前は原油価格が1バレル当たり80ドル以上でないと採算が取れなかったような石油開発が現在では40ドル台でも黒字化するところまで効率性が上がっているのも当地を中心とする様々な関係者の努力によるものです。

また昨年はハリケーンHarveyが引き起こした大洪水に見舞われ、多くの方々が大変な目に遭いましたが、その後、街は驚くべき急ピッチで復旧を遂げています。そして今も人口、雇用、オフィスや住宅着工数といった各指標も伸長しており、まさに「Houston Strong」が日々あちこちで体现されています。一方、今年に入ってから米国大型減税や鉄鋼・アルミ製品への通商拡大法適用、中間選挙や北朝鮮との会談の行方等、世の中には我々のビジネスや暮らしを左右するような様々な変化も起こっています。このような動きについて今後とも当会の皆様と意見・情報交換させていって貰えれば幸いです。

さて、ヒューストン日本商工会はパートナーシップ、フレンドシップ、そして次世代のためにという3つのミッションを掲げ、各種活動を行っています。「パートナーシップ」の分野では日本庭園、ジャパンフェスティバルへの協力やショーイングジャパン運動等、「フレンドシップ」においてはテキサス会ゴルフコンペ、ソフトボール大会、古本市などの実施、そして「次世代の為に」というテーマには補習校運営、ガルフストリーム誌発行等を位置付けています。会員の皆様にはこれらイベントや活動に奮ってご参加いただければと存じます。最後になりましたが、ヒューストン在住の皆様様の益々のご健勝と当地日系企業のご発展を祈念しつつ挨拶の言葉とさせていただきます。



会員限定

会員限定

会員消息

<敬称略／カッコ内、配偶者名>

会員限定



ヒューストン日本商工会

会社紹介

NIKKEI AMERICA, INC

日経アメリカ社販売部 Circulation Department

山本 泰介 さん



1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

日本経済新聞社のアメリカ現地法人です。取材、編集活動のほか、日経電子版・紙版の販売、広告営業、電子メディア事業などのビジネス展開をしています。

1952年にニューヨークに支局を開設して以来、アメリカ国内では5箇所、中南米も含めれば取材拠点は7箇所となります。

販売部では日本経済新聞の販売を行っております。電子版が2010年3

月に創刊されてから販売環境は急激に変化しています。紙版から電子版へのシフトです。読者さまはインターネット環境という条件はあるものの「いつでも、どこでも」日本経済新聞を「読む、使う」ことができるようになりました。日本との情報時差も解消できています。とはいえ、読者さまからは紙版との比較などから、沢山のご意見、ご要望を頂戴します。「目からうろこ」のご意見だらけです。紙面ビューアー、記事の保存や転送機能などはお客さまからの強いご要望もあり実現しました。そして近日中には日経日本語記事の英文自動翻訳機能もきちんと紹介できるのではないかと考えております。

もちろん、紙版の販売も続けております。ご当地ヒューストンエリアはニューヨークからの郵送お届けとなっております。お客さまのお手元に届くまで時間が掛かってしまいますが、電子版同様の販売改善を試みていく所存です。

2. ヒューストン／テキサス州の印象についてお聞かせください。

この文章を書いているのはヒューストン日本商工会様名簿に記載していただいている「山本」でございます。ニューヨークに住んでおります。実は私、今までご当地ヒューストンでの活動は数十日程度かもしれません。この設問を受け、「ステーキ」、「宇宙」、「ピックアップトラックの多さ」といったことが頭に浮びましたが、その反面、「私はヒューストンを何も知らない」といったことを強く認識しました。1年後には「ヒューストンをアツク語れる」ようになりたいと意を決しました。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

個人的関心事の最優先は「ヒューストン」です。

2番目は家族との関係強化です。そのきっかけとしてヒューストン家族旅行を検討しています。

3番目はゴルフです。ヒューストンでゴルフ合宿をします。

最後になりますが、皆様、ニューヨークにお越しの際にお時間に余裕があればぜひ弊社にお立ち寄りください。

今後共末永いお付き合いを何卒宜しくお願いします。



第1回 宇宙セミナーの開催

例年、多くの商工会員の皆様にご参加いただいている宇宙セミナーを、今年も開催しています。今年最初となる第1回宇宙セミナー2018を2018年3月24日(土)に開催いたしました。

第1回宇宙セミナー2018では、日本語解説によるNASAジョンソン宇宙センターの施設見学ツアーと、ご家族で力を合わせて宇宙飛行士に必要な資質・能力に挑戦する参加型イベント「宇宙飛行士にチャレンジ!」を行いました。当日は天候にも恵まれ、見学ツアーにはちょうど良い日和の中、23家族74名の皆様にご参加いただきました。JAXAからはヒューストン駐在職員に加えて、これまでに2度、国際宇宙ステーション(ISS)に滞在し、また先日、2020年5月頃からの長期滞在計画が発表されたばかりの星出彰彦(ほしであきひこ)宇宙飛行士も参加し、宇宙での実体験とそれに向けての訓練の様子をご紹介いたしました。

午前中は、会場となったスペースセンターヒューストンが運営するトラムに乗り、NASAジョンソン宇宙センターの施設見学を行いました。JAXA職員による日本語の解説により、ISS運用管制室(バックアップルーム)、宇宙飛行士訓練施設、ロケット展示施設、を約90分かけて見学しました。

トラム乗車中にISSの基礎知識について聞いた後、ISSとの通信や、地上からの遠隔操作を行うための運用管制室を見学しました。今回はNASAからの一般見学ルートへの規制により、常時運用に使われているメインの管制室ではなく、管制員の訓練等にも用いられているバックアップ管制室の見学となりましたが、メインの管制室とほぼ同じ作りの管制室をご覧いただきながら、その仕組みや運用管制員の役割等に関する説明を受け、ご興味を持たれた方、驚かれた方が数多くいらっしゃったようです。

次の訓練施設ではISSの実物大模型を見学しながら、ISSや日本の実験棟「きぼう」の大きさや日本の存在感を実感し、また、月を目指す有人宇宙船ORIONや月面ローバーの展示では、将来の宇宙探査についての思いを巡らせている方が多くいらっしゃったようです。

午後はスペースセンターヒューストンの会議室にて、「宇宙飛行士にチャレンジ!」を行いました。特別審査委員長は星出宇宙飛行士、司会はJAXA山田所長代理です。まず、星出宇宙飛行士から宇宙での実験や船外活動(EVA: Extravehicular Activity)などの宇宙飛行士の仕事についてご紹介し、その仕事をきちんとこなすために必要な能力・資質を磨く訓練について説明がありました。そしてこの後、参加者の皆さんには、宇宙飛行士に必要な4つの能力「知識力」「想像力」「記憶力」「持続力」を試す問題に挑戦して頂きました。

「知識力」の問題では、一昨年12月に日本の輸送機「こうのとり」6号機でISSに運んだ日本のバッテリーや、現在宇宙ステーションに長期滞在中の金井宇宙飛行士が行っているミッションのテーマなどを取り上げ、どんなことがISSで行われているのかを知って頂く機会になりました。

「想像力」の問題では、らせん状のマス目に合わせて、制限時間内に「しりとり」でどれだけの言葉を当てはめられるかを競う課題に挑戦頂きました。複数ある細かなルールを守りながら、大人の知識力と子どもの柔軟

な想像力のかけ合わせにより、たくさんの言葉でマス目が埋められました。

「記憶力」の問題では、制限時間内に数字の羅列と、宇宙飛行士の顔写真を暗記して答えるという難易度の高いクイズでしたが、どのご家族もチームワークを発揮し、答えを導き出して下さいました。

「持続力」は、折り紙が課題です。実際の宇宙飛行士選抜試験でも折鶴をひたすら折り続ける作業が課題となったことがありました。短い制限時間の中で何個折ることができるか、プレッシャーの中でも集中力を切らすことなく、真剣に取り組んでいただくことで、たくさんの折り紙ができました。

質疑応答では、「宇宙飛行士に必要な素質」「宇宙で生活している時に、ここは改善したいと思った事」「宇宙ステーションに滞在するにあたって、怖いと感じた事」等の、さまざまな質問をいただきました。

その後、接戦を制した上位2家族で決勝戦を行いました。決勝戦では、ISSでの船外活動(EVA)を模擬した「EVAロープトライアル」が出題されました。これは、トライアル参加者をEVAを行う宇宙飛行士と想定し、ISS船外部品に見立てた部品を、決められたルールを守りながら順番に交換していく課題です。特に大事なルールは2点です。1点目は、船外活動中に手から部品が離れてしまうと、二度と取りに行けないため、部品を取り外す場合は、必ずその前にロープを部品に取り付けて手が放れても部品が飛んで行かない状態を作ること。2点目は、スタート/ゴール地点(実際の宇宙飛行士が船外に出るときに使用するエアロックを想定)から作業場所への移動の際に、慌てない・走らないこと。どちらのチームも、確実かつ迅速に作業を行いました。僅かの差で野宮さん家族が優勝、小川さん家族が準優勝となりました。

参加者の皆さんからは、「日本語解説によるトラムツアーは分かりやすく理解がとて深かった」「宇宙飛行士の実体験を踏まえた話は楽しく勉強になった」「ヒューストンならではの貴重な体験ができた」などのご好評をいただきました。

今回の宇宙セミナーでも一部ご紹介した、2017年12月からISS長期滞在中の金井宣茂(かないのりしげ)宇宙飛行士の活動状況、ISSで行われている宇宙実験などは下記のウェブサイトでもご紹介しています。ぜひご覧いただき、みなさんも宇宙を身近に感じてください。

(文責: JAXA)

金井飛行士の準備状況: http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/kanai/
ISSで行われている宇宙実験: <http://iss.jaxa.jp/kiboexp/>



午後に行った参加型イベントの様子



優勝した野宮さん家族と星出宇宙飛行士

日米市民が支える ハーマンパーク

日本庭園



オクラホマレッドパッド



オカメ桜



日本政府からいただいた寒緋桜

日米共同で進められた
ヒューストンの日本庭園

建設は、日米の均等負担で1992年に完工、開園されました。その後日本人の関与が無くなったため次第に日本庭園の風格が失われたため、日本人コミュニティが参加して、2007年に日本庭園改修プロジェクトが始まりました。今ではハーマンパークの民間管理団体であるHermann Park Conservancyの中にJapanese Garden Advisory Committeeが設置され、日系諸団体の代表がメンバーとして参加、活躍しています。この12年間に取り組んで来た日本庭園の改修工事については、これまでガルフ誌上で度々報告してきましたが、今年の日本人庭師一行による作業結果をここにご報告します。

雨、アメ、あめ……。今年の改修工事は2月19日から3月2日まで行われましたが、雨中の作業でスタートしました。2月半ばの日本庭園では、冬を越したサザンカの白い花や、紅梅が終わった後を引き継ぐようにオカメ桜やメキシコ梅、梨の白い花が咲き誇っていました。そしてフジ棚やツツジの数百の蕾は、その出番を待っています。

はじめに手がけたのは、長屋門を入った広場に設置された竹垣の取り替えです。初代の物は、東南アジアから輸入した竹を使って設置しましたが、心無い入園者が足を乗せたり踏みつけたりしてすっかり傷みました。今回は、日本で購入したプラスチック竹を使用、実物と見分けがつかぬほど美しく出来上がりました。

園内の黒松は15、16本に増えていますが、その剪定は日本人庭師にしかできません。床屋でさっぱりした感じに仕上がります。ただ切るだけではなく、どの様な形に伸ばしていくかを考えながら作業をするわけで、来年につなげる仕事です。

剪定といえば、今年一番大掛かりに行ったのはサルスベリでした。大型トラック数台で運び出したサルスベリの枝を切るのは、当地の作業員にはできない技です。丘の上のすかしが戻ってきて明るくなりました。枯山水庭園周辺の樹木もすべて剪定し、特に来年に向け伸ばしたい樹木の指示もしてもらいました。

伸びすぎた樹木をたくさん剪定していく中で問題になったのは低木、特にツツジなど、花のつぼみを百も千もつけたものをどうするかということでした。アメリカではツツジなどを剪定する習慣はなく、花が終ればそのまま次の季節まで伸ばしっぱなしで年々丈が高くなるのです。日本庭園にふさわしい高さに揃えるにしても、来るべきJapan Festivalを目前に惨めな形にはしたくないということで剪定をやめ、Festival終了後に直ちに剪定をすることになりました。そこで、剪定の目安を示す赤線を引いた

杭を樹木の中に打ち込み、それに従い思い切った剪定をする様に指示してもらいました。また、庭師たちは、フジ棚に上り、伸び過ぎた蔓の葉先を切り花蕾の蔓を残しました。すでに色付いたつぼみも見られたので、3月後半にはツツジとともに満開になりそうです。

細かい作業としては、アーチ型の竹垣(ななこ垣)が潰されていたり、鹿威し(ししおどし)の竹が働かなくなっていたりしていたところを、いずれも日本で購入した新品で交換修理しました。

今年の工事の予定は、一昨年から始まっている冠木門(かぶきもん)の仕上げを前半に、後半に全体のメンテナンスを計画し、諸準備を進めましたが、直前になって石屋の手違いで注文した石が届かず、冠木門の石組み作業や歩道作りが出来ないことになりました。これらの作業は、次回に完成させる予定です。この変更のため、各方面にご迷惑をおかけしたやもしれません。ここにお詫び申し上げます。

今年も、日本人コミュニティの皆様からは絶大なるご支援、ご援助を頂きました。また昨年に続き、庭師の宿泊所としてConservancyの理事がご自宅を開放してくださいました。下記にご尊名(代表者)を示し感謝の意をお伝えしたいと思います(敬称略)。

日本総領事館
日本商工会(高杉様)
日本人会(武智様)
日米協会(坂下様)、(Patsy様)
Goodman Global Group, Inc.(井上様)
Sumitomo Corporation of Americas(本多様)
JERA Americas Inc.(内藤様)
All Nippon Airways Co., Ltd.(名川様)
Smith Namie 様
望月 緑様
斎藤明美様
能勢亜子様
朱美インクス様
山口浩子様
Doreen Stoller様
前田美穂様
佐藤暁子様
南 貴美子様



修理の終わったししおどし



黒松の剪定



剪定の目安を示す赤線を引いた杭

最後になりましたが、日米両国の友情のシンボルとして建設された日本庭園において、その改修プロジェクトは「日米の友情」を具体的に示すものとして、昨年11月13日に開催されたKeep Houston Beautiful Luncheon の場で、Mayor's Proud Partner Award を授与されました。この場をお借りしてご報告し、皆様と共にその喜びを分かちあいたいと思います。

(Hermann Park Conservancy 理事 南 邦夫)



大掛かりなサルスベリの剪定



花蕾の蔓を残した藤棚



竹垣の取り替え

ヒューストン日本語補習校 卒園・卒業式

月日は百代の過客にして、行き交ふ年もまた旅人なり

弥生17日、46回目となる卒園・卒業・修了証書授与式が厳かに執り行われ、学校に通う子供たち、育む父母、導く先生方の行き交う年にひと区切りをつけました。

入園当初やんちゃだった幼稚園児、今ではちゃんと一人ずつ校長先生から証書を受け取ることが出来るようになりました。でも、まだまだ先生がついていないと不安ですね。心も体も大きくなった小学生、日本の歴史や文化を学べる補習校の面白さを分かり始めて

います。総領事が祝辞で述べられた「人と文化を相対的に見られる目が国際化の根幹」を確実に会得しているようです。自我を作り始めている中学生、はにかみながらも親に感謝の言葉を述べられます。決して自分ひとりで育ったわけではないこと、社会の中で生きていることをしっかり理解しています。そして、もうすぐ大人の仲間入りをする高校生、国際都市ヒューストンで育ったチャンスを糧に今まさに飛躍しようとしています。

とどまるところのない子供たちの成長を垣間見ながら、いずれ来る独り立ちを温かく見守りたいと思うひと時でした。

蛤のふたみにわかれ行く春ぞ(季違改変ご容赦の程)

(文責:補習校運営委員 大滝雅人)



ピーカンキッズ 活動報告 -あそぼーかい-

3月の「あそぼーかい」は1日(木)と3日(土)に開催されました。今年の冬はいつになく寒い日が続きましたが、3月になり、少しずつヒューストンらしい暖かさが戻ってきました。3月のテーマは「ひな祭り(桃の節句)」。

●はじまりのあいさつ

トラお君、トラ子ちゃんと一緒に3月3日は何の日?そして暖かくなるとどんな生き物が活動する?と、みんなでお話しました。



●からだあそび "キャベツのなかから"

春になると、新しい葉が出てきて、あおむしたちも顔を出します。キャベツの中のあおむしは最後にどうなったでしょう。



●お楽しみ「パネルシアター」“ひなまつり”

ひな祭りの由来になったお話をパネルシアターで紹介しました。ちびっ子たちはとても静かに聞き入っていました。



●今月のうた “うれしいひなまつり”

日本にいないのでなかなか聞く機会がありませんが、「うれしいひなまつり」をみんなで元気に歌いました。



●3月のお誕生会

今月も、お誕生日をお祝いしました。おめでとうございます!毎月みんなでお祝いしますので、ちびっ子たちの誕生月にはぜひご参加ください!

●工作 “おひなさま飾り”

お内裏様とおひな様の工作をしました。クレヨンで顔を書き入れ、扇や笏、冠などの小さなパーツも自分で一生懸命貼り付け、上手に完成しました。出来上がった飾りをもってみんな一緒に記念撮影をしました。



初めてのちびっ子もお待ちしています。「あそぼーかい」は月に2回、平日1回と土曜日1回開催しています。

三水会センターのキッズルームへどうぞお気軽にお越しください。

ピーカンキッズ今後の開催予定

<あそぼーかい>

5月18日(金) 10時30分～

5月19日(土) 9時30分～



<読み聞かせの会>

5月4日(金) 10時30分～三歳以下のお子様向け

*変更がある場合もございます。三水会センター内のポスターやコミュニティサイト:ヒューストンナビ<hounavi.us>でもご確認ください。

*スタッフは随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは、次のアドレスまでご連絡ください。お待ちしております。

あそぼーかい mama.asobokai@gmail.com

読み聞かせの会 houstonyomikase@yahoo.co.jp

天野総領事夫妻離任レセプションの開催



ターナー市長からの声明書



Photo by Shawn James



本多会長による乾杯



クルズ議員からの感謝状

3月21日(水)、一週間後に帰国を控えた天野総領事夫妻の離任レセプションが、総領事新公邸にて開催されました。

今までの公邸は、昨年8月のハリケーンハービーの被害により、使用不可となったため、今年に入ってからリバーオークスに公邸を移転。そのため、今回が新公邸での初めての大きなレセプションとなりました。

冒頭、天野総領事から、在任中の活動の簡単な総括と、お世話になった方々への御礼とご挨拶がありました。続いて、天野総領事をヒューストンの名誉市民とするターナー・ヒューストン市長からの声明書、テッド・クルズ上院議員および、アル・グリーン下院議員からの感謝状が次々と代読され、天野総領事のヒューストンでの活発な外交活動の一端を披露する形となりました。最後に、本多商工会会長が、帰任後の天野総領事の健康と活躍を祈って乾杯の音頭を取りました。

レセプションには、国籍も職業も様々で、年齢層の幅も広いたくさんの方々にお越しいただきました。

天野総領事の後任はまだ決まっておらず、後任が到着するまで、岩崎竜司首席領事が総領事代理を務めます。

(文責:ヒューストン日本総領事館)



警官時代ヒューストン補習校の警備をされていたブラウナー・ケイティ市長



グリーン議員からの感謝状



Photo by Shawn James



平成30年度領事・旅券手数料改定 (2018年4月1日～2019年3月31日までの料金)

毎年、年度が変わるとその年の領事・旅券手数料(総領事館でパスポートや各種証明書を作るときにかかる手数料)が改定されます。本年4月1日からは、下記の料金となる予定です。なお、この情報は、総領事館ホームページでもご覧いただけます。

1. 手数料は、受領時に現金でお支払いください。パーソナルチェック、クレジットカードはご利用いただけませんのでご了承ください。
2. お釣りのないようにご準備をお願いいたします。

単価(U S\$)

1. 旅券

2018年3月31日まで 2018年4月1日から

(1) 一般旅券(10年有効)	145.00	143.00
(2) 一般旅券(5年有効:12歳以上)...	100.00	98.00
(3) 一般旅券(5年有効:12歳未満)...	55.00	54.00
(4) 一般旅券の記載事項変更旅券...	55.00	54.00
(5) 一般旅券の査証欄の増補	23.00	22.00
(6) 渡航書の発給	23.00	22.00

2. 証明

2018年3月31日まで 2018年4月1日から

(1) 在留証明	11.00	11.00
(2) 出生・婚姻・死亡等身分上の事項に関する証明(英文) ..	11.00	11.00
(3) 翻訳証明	40.00	39.00
(4) 署名証明(官公署に係わるものを除く) ..	15.00	15.00
(5) 運転免許証抜粋証明	19.00	19.00
(6) 旅券所持証明	19.00	19.00

3. 査証

(1) 一般入国査証	27.00	27.00
(2) 数次入国査証	55.00	54.00
(3) 通過入国査証	6.00	6.00

※(1)～(3)は、査証申請人の国籍によって異なる場合があります。

(4) 再入国の許可の有効期間の延長 ..	27.00	27.00
-----------------------	-------	-------

※ 領事手数料及び旅券手数料ともに、年度をまたぐ手数料の徴収にあたっては、申請日の手数料額(旧年度の手数料額)を交付時に適用することとなりますので、申請には十分御注意下さい(例:3月31日申請受付、4月7日交付であれば、3月時点での手数料即ち2017年度の額を4月7日に徴収することとなります。)



第29回 テキサス州日本語スピーチコンテスト

今年も例年通りヒューストン日本商工会は寄付及び当日の審査員など日本語スピーチコンテストの支援を行っています。

第29回テキサス州日本語スピーチコンテストが3月10日土曜日、ライス大学ヘリングホールに於いて在ヒューストン日本国総領事館及びヒューストン日米協会の共催により開催されました。各地区(オースティン、ヒューストン、ダラス、サンアントニオ)を代表する地区大会上位入賞者総数47名が本選に挑戦しました。

本大会はスピーチの種目ごと2部に分かれ、第1部が中高校課題詩暗唱部門、高校スピーチ全米オーロラ大会出場者選考部門、そして大学部門の発表が行われ、第2部は、高校スピーチ朗読部門、俳句部門、そしてオープン(一般)部門の発表が行われました。年ごとに出場者の語学習得の達成度は改善してきていますが、今年は特に顕著な語学力の向上が見られ、発表を通して本大会に寄せる出場者の熱意が感じとれました。オープン部門は大会に採用されて4年目で参加登録者数最多の9名が出場しました。大学卒業後も継続して日本語を学習している社会人や大会規則外にある日本語補習校に通う生徒の皆さんが熱弁をふるいました。発表の内容はさまざまに家族と共に困難な状況に直面し乗り越えた経験やアメリカの銃社会で高校生に今出来ること、また抹茶に日本の美を見出した体験等、若者の真剣な想いが伝わるスピーチに審査員も甲乙付けがたいほどの感銘を受けました。創作俳句の発表ではアメリカ文化にも広く普及している俳句の新鮮さに共鳴しました。今年も支援団体からの多大な寄付により、開会式では3月10日の「マリオの日」にちなんでくじ引きに記念品が提供されたり、大会休憩中には日本のおにぎりやス

ナック菓子を味わったり、と参加者全員が日本文化の多様性に触れることができ、大会主旨でもあるスピーチコンテストを通して日米文化交流の絆を深める一日となったことに改めて支援団体各位の皆様のお蔭と感謝に堪えません。

大会授賞式は同会場に於いて、ヒューストン日本商工会、ヒューストン日本人会、ヒューストン日米協会(シンテック金川基金)、テキサス州日本語教師会、全日空(ANA)、JETAA(JETプログラムテキサス同窓会)等、各支援団体代表の方々のご同席のもと、参加者とその家族・教師全員が受賞式に臨みました。各団体代表の方々より各部門入賞者にトロフィーと賞状が授与されました。特別賞は詩暗唱部門の1位入賞者にJETAAから記念品が、高校スピーチ全米オーロラ部門入賞者にヒューストン日本人会から奨学金1300ドルが、大学スピーチ部門入賞者にヒューストン日米協会シンテック金川基金から奨学金1800ドルが、スピーチ朗読部門1位入賞者にテキサス州日本語教師会から記念品が、オープン部門1位入賞者に全日空(ANA)より日本往復航空券が、其々授与されました。本大会が無事にそして成功裏に終了できたのもひとえに在ヒューストン各団体からのご協力と資金面でのご支援、ボランティアの皆様のご協力の賜物であり、心よりお礼申し上げます。また各団体を代表し審査員をお引き受け下さった皆様のご協力に感謝申し上げます。今後とも引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以下入賞者の方々には今後も継続して日本語と日本文化を学習し、日米両国の架け橋となり日米文化の交流と相互理解に尽力されるよう心より祈念いたします。また入賞された生徒学生のご家族、日本語教育に携わる教師の方々の日々の努力に感謝いたすと共にその努力の成果に心からお喜び申し上げます。おめでとうございます。

各部門入賞者 氏名(在学学校名・代表地区名):

詩暗唱部門1位 Mark Onchengco (Berkner H.S. Dallas), 2位 Simone Lim (Bellaire H.S. Houston), 3位 Markschanne Espere (Churchill H.S. San Antonio)
俳句部門1位 Yinuo Chen (Bellaire H.S. Houston), 2位 Brennan Mohrer (Johnson H.S. San Antonio), 3位 Tori Wendell (Churchill H.S. San Antonio)
スピーチ朗読部門1位 Katera Scott (Skyline H.S. Dallas), 2位 Hang Quang (Berkner H.S. Dallas), 3位 Caitlin Rinehart (Churchill H.S. San Antonio)
高校オーロラ部門1位 Heewon Huh (Newman Smith H.S. Dallas), 2位 Jiaqi Zhu (Bellaire H.S. Houston), 3位 Andrea Lopez (Winston Churchill H.S. San Antonio)
大学部門1位 Frenchi Nguyen (The University of North Texas, Dallas), 2位 Alex Bogaev (Texas A&M University, Houston), 3位 Crystal Salinas (University of Texas at San Antonio, San Antonio)
オープン部門 (Open)1位 Bowen Liu (Houston), 2位 Marie Romano (Austin), 3位 Mario Depavia (Houston)

特別賞・賞状授与:

JETAA賞課題詩部門1位 Mark Onchengco ,
JBAH賞賞状授与俳句部門1位 Yinuo Chen, 2位 Brennan Mohrer , 3位 Tori Wendell
テキサス州日本語教師会賞 記念品スピーチ朗読部門1位 Katera Scott
ヒューストン日本人会奨学金 高校オーロラ部門1位 (\$1,000) Heewon Huh, 同2位(\$200) Jiaqi Zhu, 同3位(\$100) Caitlin Rinehart
ヒューストン日米協会オーロラ日本語スピーチコンテスト全米大会 (5/2018) 航空券 授与 高校オーロラ部門1位 Heewon Huh, 同2位 Jiaqi Zhu
ヒューストン日米協会シンテック金川基金 大学部門奨学金 大学部門1位 (\$1,000) Frenchi Nguyen, 同2位 (\$500) Alex Bogaev, 同3位 (\$300) Crystal Salinas
ANA日本往復航空券 オープン部門1位 Bowen Liu

大会HP <http://www.jas-hou.org/news/2018/2/12/2018-houston-regional-japanese-language-speech-contest>
 大会結果 HP http://www.jtat.org/SpeechContest18/state_results.htm

佐藤裕子(ライス大学)テキサス州日本語スピーチコンテスト実行委員会





第163回 石橋智子 さん

主人の米国駐在に伴い、昨年7月にヒューストンへ参りました石橋智子と申します。

こちらに参ります前は、駐在二度目となりました北京に4年間おりました。既に成人した3人の子供達を日本に残し、夫婦だけの生活を北京の時からしております。

私は、23年程前に北京と上海に家族5人で住んでいました。前回は今回も、中国の環境などで苦手に感じる人もいました。そんな中、私は自分なりの楽しみを見つけ、名残惜しく北京を去りました。中国らしいものでは、篆刻、墨絵を習いました。あいにく絵心がない私には向いていませんでした。出会って良かったものは、フラワーアレンジメントやフルートという洋風のものですが、生涯の趣味になりました。私の知っている中国人は日本が好きです。私が行ったことのない観光地へ行っていて、訪れるよう勧められました。日本は兎に角清潔で、食べ物美味しいとのこと。

駐在と言え、中国しか知らない私です、英語を話せない事が大きな原因かと思いますが、アメリカに旅行では来ていましたが、それ程興味

はありませんでした。ましてや住むなどとは、想像の域を越えていました。還暦近い年齢で、人生初のアメリカ駐在！人生、何が起こるかかわからないです！主人とも話しておりますが、ヒューストン生活が出来て本当に良かったと、この状況にとっても感謝しています。中国とアメリカ、広い国土は共通していますが、やはりヒューストンには開放感がありますし、とってもフレンドリーな人達に感動しています。着任間もないころ、海沿いのレストランで主人と二人で食後、携帯で写メを撮っていた時に結構遠くから駆け寄って来て、「自分が撮ってあげる」とポーズの提示もしてくれました。またある日は、スーパーマーケットで生姜を手に入れている私に、ペラペラ英語で話しかけて来て、最後に何故か笑ったので、その時は微笑がえしをした事を思い出しました。こちらで知り合った日本の方々も皆さん優しく、何もわからない私を助けてくださいました。ひとつひとつの出会いに感謝しています。

私の日々の生活ですが、月曜から金曜日まで休まずYMCAのスタジオでダンスや筋トレのクラスに参加して楽しんでます。それと週に二回、英語を。こちらは中々の苦戦です。個人レッスンでは、兎に角褒めていただけますので、上達したのかしらと思います。その勘違いのまま、Literacy Advanceのヒヤリングテストを受けて、全然聞き取れませんでした。やはりもっと英語に触れなくてはと反省したりもしています。ですが、中国で身につけたボディランゲージと雰囲気から想像しての相槌を駆使して、ほぼほぼ理解できていない英会話を何とか交わしています。週末は、ダウントウンに



出かけたり、ゴルフの打ちっ放しをしています。ダウントウンに出かけるのは日本食の買い出しやチャイナタウンを訪れるために。

先日チャイナタウンの料理店でマネキン人形が「刀削麺」という麺を削っていました。初めて見ましたので、写メを撮りました。隣で職人さんが手で伸ばしている麺の方が美味しそうでした。中国語を話す方がまだましな私ですので、中国語を見たり話したりし、ホッとした気分を味わっています。YMCAにも英語のクラスにも中国人がいて、やはり中国語で会話をしています。と申ししても、中国語のレベルもかなり低いです。せめてそのレベルくらいまでは英語が話せることを目標としたいと思います。会話が出来ること、もっとヒューストン生活が楽しめるでしょうから。

私の 課外活動 in Houston



20 Japan Culture Class

毎月行っているボランティア活動「Japan Culture Class」について紹介いたします。私たちの活動は約6年前、ヒューストンに日本文化を広めようという試みから始まりました。創設メンバーが茶道師範、日本語教師の資格を持っていたことから、活動開始当初は茶道と日本語をメインに行っていましたが、徐々に季節折々の伝統行事や日本ならではの風習・食べ物も紹介するようになりました。実際に手や体を動かして体験する内容が好評なので、現在は毎月テーマを選んで料理や和菓子作り、着付、書

道、藍染などを取り入れています。

立ち上げ当初は活動自体を知ってもらい、参加者を募ることが大変でした。図書館等の公共施設や通っている語学学校の掲示板に貼り紙を依頼したり、meet-upグループに投稿しているうちに参加者が少しずつ増え、嬉しいことにリピーターとして毎回参加して下さる方もできました。

この活動を通しての発見が二つあります。まず、一つ目は日本独自の文化は私たちの想像以上に世界各国の人々を惹きつけていることです。私たちの生活に馴染み深いものであっても、海外の人から見ればとても新鮮で面白く感じるようです。中には日本人の私たちよりも各分野に詳しく、熱心に取り組んでいらっしゃる方もいます。専門的な質問を受け、それに英語で回答することは困難な時もありますが、それだけ興味を持っているのだと嬉しく感じます。

二つ目は海外に出てみて今まで知りえなかった日本の良さに気付いたことです。日本で何気なく生活していた時よりも、行事や食べ物、身近にある



ものの意味や由来を考えたり、調べる機会が増えました。母国から離れることでそれぞれの国の違いを肌で感じ、客観的に見ることで自分たちの国の素晴らしさを実感しています。

普段の生活では繋がりを持つことが難しい方々と交流できるのは貴重な経験であり、また英語で現地の方々とコミュニケーションを取ることに少し自信ができました。ヒューストンの方々に日本文化にさらに興味を持っていただけるよう、メンバー同楽しみながら活動を行っています。

(文責: 増渕奈菜・野村久美子)





テキサス・メディカルセンター最前線

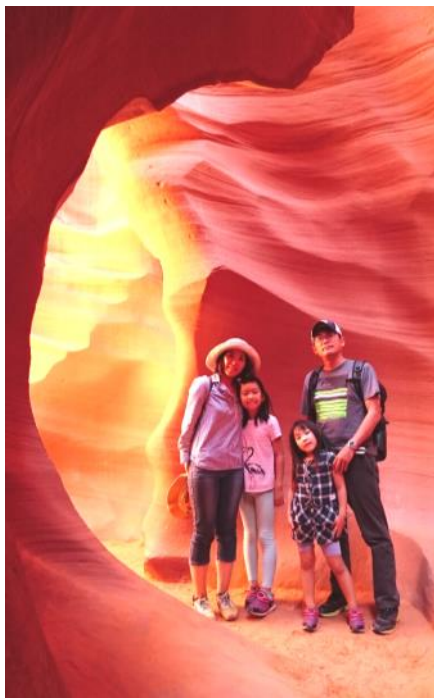
このページでは医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場頂き、健康と医療についてお話し頂きます。

前回の柊里真也先生から放射線物理が専門の河野良介先生にバトンが移りました。

第162回

「医学物理士」って、どちらさん？

MD Anderson Cancer Center、放射線物理部
PHD、医学物理士 河野良介



1. はじめに

もちろん初めましてなのですが、この記事が掲載される頃には、たぶん日本にいらっしゃる河野良介と申します。実は、僕自身は、医師ではありません。ですので、正直、僕なんかが書くのはおこがましいとも思ったのですが、依頼のタイミングといい、医師以外の初執筆（かも？）といい、何か運命的なものを感じますので、どうか本記事を、2年間の長い旅が終焉を迎えようとしている僕からのHoustonへの最後の置き土産とさせていただきます。

僕自身は、医学物理研究者としてあるいは医学物理士として、国立がん研究センター東病院などで、陽子線がん治療（放射線がん治療）に15年以上従事しておりましたので、読者の皆さんに何かお伝えできることがあるとも考え、本依頼を引き受けさせて頂いた次第です。今回は、留

学時にも研究を進めた陽子線がん治療を中心に、日本ではまだまだ馴染みのない医学物理士についても紹介させて頂ければと思います。

2. 知ってください、放射線がん治療！！

まず、皆さん、放射線と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？原発事故、あるいは、原爆のイメージでしょうか。非常にネガティブなイメージが多いかも知れませんが、その怪しい放射線が、「がん」だけに当たってくれたら、皆さん、どうでしょう？つまり、「がん」だけが死んでくれたら、嬉しいんですか？そうなんです。それを利用したのが、放射線がん治療なのです。ちなみに、この放射線がん治療は、日本では、がん患者さんの3割しか受けていませんが、欧米では6割もの患者さんが受ける非常にメジャーな治療法となっています。

それでは、放射線がん治療法について、簡単に説明しましょう。図1は、様々な放射線が体に照射されたときに放射線がどのようにエネルギー（線量）を落としていくかを示したグラフになります。すなわち、放射線が体内を進みながら、どのように細胞を殺していくかを表しているとお考えください。例えば、放射線がん治療で一般的に使われる高エネルギーX線（黄褐色）を人体に照射すると、体表から2cmのところで線量が一番高くなり、その後は、緩やかに減少しながら線量を落としていくという特徴があります。これは、「がん」が深さ8~12cmのところにある場合、「がん」をやっつける前に、体表から2cmのところの組織が先にやられ、さらに、「がん」よりも奥深いところにもかなりの放射線が当たってしまうことを意味します。このように、X線治療では、どうしても、「がん」の手前と奥に放射線が当たること、放射線障害が出てしまうことがあるんです。

そこで注目されたのが、陽子線がん治療です。放射線の一種である陽子線（赤字）は、8~12cmの深さにある「がん」に100%の線量を照射できているのがわかるかと思います（これを拡大ブラッグピークと呼びます）。さらに、「がん」の手前の線量も抑えられ、かつ、12cm以降には、線量を落としません。すなわち、「がん」のみに集中的に線量を与えることができ、かつ、周辺の重要な臓器には、極力線量を与えないので放射線障害が抑えられることになります。このような拡大ブラッグピークを利用した治療を陽子線がん治療と呼び、現在、日本には13ヶ所の治療施設があり、普及が進んでいるところです。

これらの放射線がん治療は、通常、通院で治療を受けることができます。また、ご

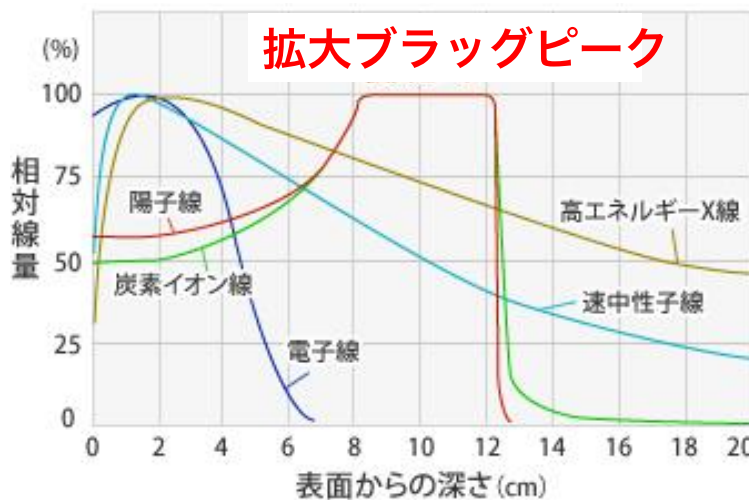


図1: 各放射線を体内に照射した時の体の深さに対する放射線が当たる量を示したグラフ

高齢であったり、心臓が悪いなどで手術ができない患者さんに対しても治療が可能で、高いQOLを維持できる可能性があります。ですので、是非、放射線がん治療を治療法の選択肢の一つとして考えて頂けますと幸いです。

3. 我ら放射線がん治療チーム！！

放射線がん治療は、放射線治療医や診療放射線技師、医学物理士らによるチーム医療により成り立っています。放射線治療医は、患者さんに対して、どこにどれぐらいの放射線を当てるのかなどの治療方針を決定し、さらには治療後の経過観察が主な仕事になります。そして、実際の放射線の照射は、診療放射線技師の担当で、毎回、患者さんを治療寝台に寝かせて、照射位置を確認してから、照射を行います。照射回数は病気により異なりますが、1日1回、計2、30回の照射を行うのが通例で、治療は1ヶ月ほどかかります。

ここで、放射線がん治療は、放射線物理をベースとした、放射線を発生する放射線治療装置と、放射線をどのように照射するかをシミュレーションをする放射線治療計画装置を利用して行われます。ピンポイントで「がん」を狙うために、それらのハイテク装置を駆使するのはもちろん、患者さんの安全のために、照射位置や照射量、シミュレーション精度も求められます。そうなんです、ここで、我々物理の専門家である医学物理士の登場となります。例えば、世界最速・最高性能機能搭載のF1カーをベーパーバードドライバーが運転したところで乗りこなすのは不可能なように、高性能放射線治療装置も、プロドライバーである医学物理士がちゃんと扱わないと、良い治療は決して提供されないのです。

このように、医学物理士は、放射線がん治療の中で、重要な役割を担っています。実際に、米国では、放射線治療医と同数の医学物理士が活躍しており、放射線治療分野を牽引しています。放射線治療装置の進歩は日進月歩ですので、装置を使いこなせる医学物理士に対する要求は今後益々高まると考えられます。

4. 終わりに

最新情報ですが、陽子線がん治療について、小児がんだけではなく、2018年4月からは前立腺がんや頭頸部がんにも保険が適用されるようです。今まで陽子線がん治療には、約300万円の高額治療費の問題がありましたが、これにより、治療が受けやすくなりそうです。加えて、陽子線がん治療の進歩は目覚ましく、自由自在に「がん」を打ち抜けるスキャニング照射という新しい照射法も開発され、さらなる治療成績の向上が期待されますので、どうぞ、これからの放射線がん治療にもご注目ください。また、放射線がん治療を受ける際には、病院選択として、医学物理士がいるかどうかにも注意して頂けるとよろしいかと思います (<http://www.jbmp.org>)。

それでは、最後に、Houstonの皆さんへ、“Let’s enjoy Houstonning!!”

今回は、チェロ専門の、あつ違うか、皮膚科専門の緒方大先生です。先生とは、MDACCにある英語レッスンの一つであるMaking Presentationと一緒に受講しておりまして、教師のMarkに毎回いじられながら、たっぷり出される宿題と、慣れない英語のスピーチやプレゼンについて苦楽を共にした仲間でもあります。先生のチェロの演奏を聞くと惚れ惚れしますよー。

■ 第560回テキサス会ゴルフコンペ「ユナイテッド杯」(共催:ヒューストン日本商工会・日本人会)

5/13
(日)

第560回テキサス会「ユナイテッド杯」を下記日程にて開催致しますので、皆様奮ってご参加頂けます様お願い申し上げます。
参加資格は商工会、日本人会会員に限らず、日本人コミュニティ関係者の方はどなたでもご参加頂けますので、ご家族、ご友人、知人、出張者等ゴルフをなさる方の幅広いご参加をお待ちしております。尚、皆様からのご寄付、賞品のご提供も宜しく
お願い申し上げます。

開催日時: 2018年5月13日(日)午前8時00分 ショットガンスタート<小雨決行>
開催場所: River Plantation Country Club (550 Country Club Drive, Conroe, TX 77302)
(<http://http://www.riverplantationcc.com/>)
お問い合わせ先: 飯野海運 / 神長(kamina-h@ex.iino.co.jp)



お助けマップ ボランティア募集

お助けマップとは、ヒューストン及び近郊のお店・レストラン・公園・学校・病院など知っていると便利な情報をまとめたマップで、ボランティアの方々による月一度のミーティングで更新作業を行っております。

この度、ホームページをリニューアルし、情報をより収集しやすく、リアルタイムに発信できるようになりました。また、これまでは、Clear Lake, Eldridge, Katy, Memorial, Galleria地区在住のメンバーに限られておりましたが、他の地域にお住まいの方なども現地特派員として参加可能となりましたので、食べ歩き好きな方、情報収集のお好きな方、もっとヒューストンを知りたいと感じていらっしゃる方、是非奮ってご参加下さい。

尚、ホームページの更新作業の他、ヒューストンお土産特集など、皆様の生活に役立つ情報集めも実施していきたいと思っています。

ご興味のある方は是非 otasukemaphouston01@gmail.com までご連絡下さい。
お助けマップホームページ <https://www.jbahoustonotasukemap.com/>



(文責: 彦坂・吉野)

Houston Walker

■Apr28~29 P!nk - Beautiful Trauma Tour @Toyota Center (1510 Polk Street Houston, TX 77002)

2018 NFL Super Bowlで国家斉唱を務めたアメリカを代表する女性シンガー P!nkのヒューストン公演が2日間開催される。女性から見てもカッコイイP!NKの圧倒的な歌唱力で演奏される爽快な曲やバラードはまさに必見。入場料: \$47.45~

www.houstontoyotacenter.com/events/detail/pink_beautifultraumaworldtour

■Apr24~May20 Hamilton @The Hobby Center (800 Bagby Street Houston, TX 77002)

ブロードウェイミュージカル。アレクサンダー・ハミルトンを主役にアメリカ独立前後の時代を描いた、ブロードウェイの中では珍しい歴史ミュージカル。音楽もヒップホップを取り入れた新しいスタイルで、ニューヨークでも大人気の作品。入場料: \$179~

<http://houston.broadway.com/shows/hamilton-baa/>

■May11~13 Houston Ballet presents Don Quixote @Miller Outdoor Theatre (6000 Hermann Park Drive Houston, Texas 77030)

ミラーシアター野外ステージにてヒューストンバレエがスペインの作家ミゲル・デ・セルバンテスの小説ドン・キホーテを公演。17世紀のスペインバルセロナを舞台とした冒険物語。素敵な振り付けやコスチュームで繰り広げられ

るヒューストンバレエを身近で観れるチャンス。入場料: 無料
www.milleroutdoortheatre.com/events/1060/

■May5 The Houston Dragon Boat Festival @Downtown Houston, Allen's Landing (1005 Commerce St. Houston, TX 77002)

毎年開催されるDragon Boat Festival。開催中はBuffalo Bayouがたくさんのボートと人で埋め尽くされる。15-20分間隔でボートレースが行われ、イベント中はライブミュージックやフードトラックも。一度足を運んでみては。入場料: 無料

www.texasdragonboat.com/

■May12 Houston Crawfish, Crab And Grill Festival @Humble Civic Center and Arena (8233 Will Clayton Pkwy, Humble, TX 77338)

この季節各地で開催されているCrawfish(ザリガニ)フェスティバル! ザリガニやカニと南部ならではの雰囲気を楽しめる。他にも様々なショップ、フードトラック、キッズゾーンもありご家族でも楽しめるイベント。チケット: \$10(前売り)\$20(当日)

www.hccgfest.com/



No.120

ヒューストン知っとん物語

By Kumiko



© kumiko

ピクニック

(共催:ヒューストン日本商工会・日本人会)

今年も、Jones Creek Ranch Parkでピクニックが開催されます。

会場にはバレーボールやバスケットボールコートもあり、大人も子供も楽しめる各種アクティビティをご用意しております。さらに、ゲームコーナーやサッカレースなどのアトラクションや豪華景品が当たるラッフル抽選会もご用意する予定です。また、パビリオンや木陰でピクニックテーブルを囲んでのBBQをゆっくり楽しんでいただけます。皆様奮ってご参加ください。

5/20
(日)



開催月日:2018年5月20日(日)<雨天決行>

開催場所:Jones Creek Ranch Park

(7714 FM 359 Richmond, TX 77406-7724)

問合せ先:商工会事務局 Tel: (281)493-1512

Email: sansuikai@jbahouston.org

編集後記

ロデオ、現地校のスプリング・ブレイクや日本語補習校で行われた卒園・卒業式等などのあった3月があったという間にすぎ、引続きイベントの多い4月になりました。また、温かい日差しの中、4月はザリガニのシーズン真っ盛りでもありますね。ヒューストンに來られて、まだ、試されていない方はぜひ。

さて、今号のガルフストリームは、「新旧会長挨拶」を1面に、「商工会議事録」、「会員消息」、「会社紹介」、スペースセンターヒューストンで開催された2018年第一回の「宇宙セミナー」、今年も庭師の方に来ていただいて手入れされた「日本庭園」、「卒園・卒業式」、「ピーカンキッズ」、「総領事送別会」、「総領事館案内」、「日本語スピーチコンテスト」、「駐妻日記」、ボランティア活動の「課外活動(Japan Culture Class)」、「テキサスメディカル」、今回United杯となる5月の「テキサス会」の告知、「お助けマップ」の紹介とボランティア募集、イベント紹介の「Houston Walker」、「ヒューストン知っとん」、そして、5月の「ピクニック」の告知になります。

今月号の1面には、この度、ご帰任されることになった高杉前会長からの離任のご挨拶と本多新会長から就任のご挨拶となっています。高杉前会長には、2度の会長就任期間、ガルフ川柳をはじめガルフ誌でも大変お世話になり、ありがとうございました。これからのご活躍を祈念いたします。また、本多新会長も2度の目の就任ということで、今後ともよろしくお願いいたします。

今月も、「ガルフストリーム」を宜しくお願い申し上げます。

(佐藤大地)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

発行: ヒューストン日本商工会

発行責任者: 本多 之仁

編集委員長: 佐藤 大地

構成・編集: 芦田史佳/五十木希実/月橋奈々子/彦坂邦子/峯恵子/吉野孝子

印刷: Sel-Fast Printing Copies & Laminating
(713) 782-2000